

緑化だより



No.79 平成24年12月号



“乙女サザンカ” 平成24年11月20日

- 広島県の美味しいなば(9)
- 野鳥の世界(ミンサザイ)
- もみじの話(9)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

1月、2月号は合併号となります。

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

広島県の美味しいなば

(9) クリフウセンタケ(栗風船茸)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はクリフウセンタケです。

クリフウセンタケは秋、コナラ林の地上に群れをなして発生する中型の食用きのこです。傘の表面は淡い黄土褐色で、周辺には白色絹糸状の被膜の破片が付着していますが消失しやすいです。湿っている時粘性があります。柄は白く細長く、まっすぐではなく屈曲しています。上部に綿毛状のクモの巣膜(つば)があり、成熟するとさび褐色の胞子が付着します。

県北の店で“しばかずき”とか“このはかずき”という名で売られています。歯切れも舌ざわりもよく味に全く癖がありません。旨みのあるだしが出るのでどんな料理にも利用できます。

似た種類として毒きのこのカキシメジがあるので注意しましょう。カキシメジの傘は栗褐色でクリフウセンタケよりかなり濃色なので区別はしやすいです。(川上)



クリフウセンタケ

野鳥の世界

ミンサザイ

名前の由来は、「ミン」は味噌置場のような狭い所に入ってきて餌を探す事から、「サザイ」は笹の葉のように小さいものの意と言われます。

キクイタダキ、ヤブサメなどと同様、小鳥の中でも最小の種類(体長約10cm前後)で普段は出会う事のない珍しい鳥で、体色は味噌のような濃い茶色に見えますが、茶と黒と白の細かい模様です。



ミンサザイ

山中の溪流地帯から上流、源流に棲み、夏期、標高800~1,300mの源流で、雄が苔を丸めて巣をつくり、雌は好みの巣を選びます。子育てはもっぱら雄の仕事で、雌は次の巣を探して産卵してまわります。繁殖期の4月下旬から6月中旬までは素晴らしいさえずりを聞かせてくれます。鳴き声は複雑で、ヒバリが大空で鳴く時のように響く声の後に「チリリリ」とつけて終わります。又、地鳴きは「チャッ・チャッ」とウグイスに似ています。

緑化センターの中では山に雪が降る頃、源流に近い麻下川の流りに沿って行き来する姿を見る事があります。

動作は、素早く目にも止まらぬほどで、小虫(羽虫)を探して石の間や木の根の間を飛

び回ります。

ミソザイの好む環境は、ブナ、ミズナラ、トチノキなど落葉広葉樹の森林で、樹冠が高いこと、低木が少なく広い空間があること、流れがあつて樹木の根が露出しているなどの条件が揃っている所です。

初夏には突き出た石の上や枯木の上をソングポストを選んでテリトリーを回りながらサエズリを繰り返しています。観察のチャンスはこの機会だけです。(吉見)

もみじの話(9)

園内の紅葉スポット

今年は台風害がなく、夏の高湿、適度な降雨など様々な条件が揃ったため、県内の紅葉はどこも美しかったようです。

緑化センターも、11月下旬まで見事な紅葉を見せ、多くの方に楽しんでいただきました。

11月初旬から朝晩の冷え込みが徐々に進んだため、色の変化も濃さをまし、薄い黄色と深紅のコントラストが一段と映えました。

シンボルツリーの一つである管理事務所前のオオモミジも、枝いっぱいにつけた葉が、日に日に色あいを変えてゆき、来園者の方々からは「これを見ただけで緑化センターに来た甲斐があった。」と喜ばれました。

他地域の巨大もみじを見ますと、栃木県芳賀郡茂木町のイロハモミジ(樹齢 700 年、樹高 25.5m、幹周 3.5m、町天然記念物)、石川県輪島市西慶寺のヤマモミジ(樹齢 500 年、樹高 20.0m、幹周 2.3mと 3.44m、枝張 25.0m、県天然記念物)、富山県高岡市運源寺の大カエデ(樹齢 350 年、幹周 3.3m、枝張 11.0m、県天然記念物)などがあります。これら天然記念物である他地域の巨樹と比べても遜色ありません。

園内では他にも紅葉の美しいところはたくさんあります。

県木の森付近のハナノキ、イロハモミジ、見本園のメグスリノキ、アメリカフウ、洋風庭園前～ツバキ園～ロマンス池をつなぐ溪流沿いなど、11月初旬から下旬まで長い期間、雰囲気の異なった景色が楽しめます。(正本)



県木の森のハナノキ



見本園の紅葉



ロマンス池の紅葉

研修会のご案内

- 12月 2日(日) 『絵手紙教室』 10:00～12:00 学習室 集合
絵手紙で手描きの年賀状を 講師:日本絵手紙協会公認講師 香川 道子
※ 要予約(先着30名)・材料費300円
- 12月 5日(水) 『写真コンクール公開審査』 10:00～12:00 学習室 集合
写真コンクールの公開審査と講評 講師:二科会会員 宗岡 泰昭
- 12月 8日(土) 『クリスマス・リース作り』 10:00～12:00 学習室 集合
自然の素材でリースを作ろう 講師:森林インストラクター 長井 稔
※ 要予約(先着30名)・材料費500円 (定員に達したため締め切りました。)
- 12月 15日(土) 『12月の自然探勝』 10:00～12:00 管理事務所前集合
冬の樹木を観察しよう 講師:環境省希少野生動植物
種保存推進員 吉野 由紀夫
- 12月 22日(土) 『注連縄作り』 10:00～12:00 学習室 集合
自作の注連縄を作ろう 講師:小河内わら工芸会 (講師が変更になりました)
※ 要予約(先着20名)・材料費600円 (定員に達したため締め切りました。)
- 平成25年 1月 6日(日) 『春の七草教室』 10:00～12:00 学習室 集合
春の七草について学び、 講師:森林インストラクター 長井 稔
七草粥を試食しよう
※ 要予約・無料

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

○ 「ヤマコウバシのお守り」

合格祈願のお守りを差し上げます。(管理事務所にて、1人1枚、無料)

○ 12月の休園日は月曜日、及び12月29日(木)～1月3日(火)です。

◎ 展示会のお知らせ

展示場所:レストハウス

(ボード展示)

絵手紙作品展

11月13日(火)～12月9日(日)

緑化センター写真コンクール作品展

12月13日(木)～1月20日(日)

応募者全員(1人1点)の作品を展示します。

(ガラスケース展示)

緑化センターの野鳥の巣展

11月14日(水)～12月23日(日)

園内で巣作りした野鳥の巣の展示をします。

1月、2月号は合併号となります。



ヤマコウバシのお守り

表紙:ツバキ科ツバキ属

カンツバキ系のサザンカの1種

開花時期は11～2月頃

ツバキにもよく似た花があるが、

開花は3～5月